



京都に住む友人は上関から魚や海産物のおまかせパックを利用し、上関の豊かな海の季節の魚を鮮度抜群の状態で届けてもらっているようだ。鮮度抜群の魚や海産物でリーグ

早朝に、山口県上関のひじきを煮て油揚げ寿司を包んで名古屋まで電車に乗った。

めの乾式貯蔵NO!全国集会@高浜」に参加。

お昼過ぎて福井到着まじか、車窓から見える海岸線が美し

い。見惚れながら、この海岸線に原発の墓場をずらりと並ばせるのか？原子炉から出る廃棄物の処理は？そんな事が頭をめぐりました。作った揚げ寿司の中のひじきは上関のもの、以前山口の光輝く海底の小石が手に取るように鮮やかに見え、その透明さに歎声の声を思わずあげたのです。

高浜に向かうバスの横の席には、「汚染水流すな！」の韓国からの李元栄さんとの行進を東京で一緒にした私と同年代の女性Aさん。その時持っていた布製の自分でデザインした絵画ポスターを今回も持参。弟さんは大学卒業後中部電力に入社し、浜岡原発「放射線管理区域」に入る仕事もし、32歳という若さで、白血病でお亡くなりなった。防御服を着用した弟さんの写真がある。下着、青、黄、赤の

することは断然許しがたい行為です。中国電力所有地周辺の海域は、生物多様性条約に基づき政府が国連に登録した海洋保護区です。

高浜に向かうバスの横の席には、「汚染水流すな！」の韓国からの李元栄さんとの行進を東京で一緒にした私と同年代の女性Aさん。その時持っていた布製の自分でデザインした絵画ポスターを今回も持参。弟さんは大学卒業後中部電力に入社し、浜岡原発「放射線管理区域」に入る仕事もし、32歳という若さで、白血病でお亡くなりなった。防

## この美しい海岸線に原電の墓場を並ばせるか？

### 11・30高浜集会に参加して①

**老朽原発うごかすな！**

ニュース

### 第155号

発行・老朽原発うごかすな!  
実行委員会

[ 連絡先 ]  
090-1965-7102



## 原発を延命させる乾式貯蔵NO! 悔しさと恐れなしには見られない

### 11・30高浜集会に参加して②

進高市政権への抗議の声も聞かれました。高浜原発を臨む音海展望台には、京都からのもう一台、大阪、滋賀、兵庫、名古屋などからのバスやマイクロが次々と到着。幟や横断幕を持つ人々で溢れました。原発ゲート前までのデモは、原発を延命させる乾式貯蔵NO!の意思表示であり、また同時に運転開始後51年目の高浜1号機の、定検後の今日からの再稼働への抗議でもありました。3・11以降、大飯、川内、伊方・・・と何度も経験させられた再稼働。目の前の巨大な原発が再び息を吹き返す光景はいつだって、悔しさと恐れなしには見られ

順に着ること。中電は白血病と原発とは因果関係は無く強いたとAさんはいつ言い切ったとAさんはいつなく強い口調で言つた。帰りのバス内では、仲間の方が持参された台湾の原発廃止の運動のビデオを見ました。

血病と原発とは因果関係は無く強いたとAさんはいつなく強い口調で言つた。帰りのバス内では、仲間の方が持参された台湾の原発廃止の運動のビデオを見ました。原発反対運動の過程で8年も

血病と原発とは因果関係は無く強いたとAさんはいつなく強い口調で言つた。帰りのバス内では、仲間の方が持参された台湾の原発廃止の運動のビデオを見ました。原発反対運動の過程で8年も

血病と原発とは因果関係は無く強いたとAさんはいつなく強い口調で言つた。帰りのバス内では、仲間の方が持参された台湾の原発廃止の運動のビデオを見ました。原発反対運動の過程で8年も

血病と原発とは因果関係は無く強いたとAさんはいつなく強い口調で言つた。帰りのバス内では、仲間の方が持参された台湾の原発廃止の運動のビデオを見ました。原発反対運動の過程で8年も

高浜町文化会館での集会では中島哲演さんや木原壯林さんのお話、全国からの報告があり、その後町内でデモをします。

ない。この原発の炉内構造物の損傷の進みは関電でも認められていてと聞けばなおさられていました。



関西電力へ申し入れ

11・30高浜集会に参加して③  
自然エネルギーの旗を高く掲げよう

このたびの「高浜集会」では、これまでになく、「原発から自然エネルギーへの転嫁」が強調されていたように感じた。20数年前から太陽光発電など自然エネルギーの活用を訴えてきた者として、「わ

が意を得たり」の思いである。原発は人間の生活の場を奪い、子々孫々にわたる不安を残すが、自然エネルギーは事

故がなく、廃棄物がなく、無限である。しかもタダであり、地球温暖化の主原因である二酸化炭素の排出がない。まさに安心・安全である。自然に恵まれた日本は自然エネルギーの宝庫である。太陽光を中心とし、風力、水力、波力、地熱など多様な方法で電気エネルギーが獲得できる。これを使



音海展望台からデモが出発（第1グループ）

わない手はない。

しかし最近、大規模太陽光発電所（メガソーラー）の建設をめぐって各地で、自然破壊や景観の面から住民とのトラブルが発生している。この問題を解決する一つの方法と

てはるかに安い。さらにかなりの期間活用できるし、老朽化しても危険はない。廃棄するのに原発のように数兆円を要することもない。

ただこの提案は電力会社や政府が採用するまい。それは

旗を高く掲げて、反原発のた  
たかいをさらに進めよう。

下村  
勉

なぜか？自然エネルギーは原発ほど儲からないからである。原発は建設、廃棄に数兆円の莫大な経費を要する。その出どころは国民の懐に他ならないが、原発の甘い蜜に群がる関連大企業が手放すはずがない。武器を作る軍需産業と同様にこれほど儲かる事業はない。原発関連企業もまた「死の商人」に他ならない。



出発前に説明（音海展望台で）

て、原発を太陽光発電所に換することがある。原発の大な敷地にソーラー・パネル敷き詰めれば、原発ほどではないが、相当な量の電力がられる。有利な点は送電線や道路が整備されているから離れてるので、住民の自然破壊をすることがない。人が生活する地域とはか離れてるので、住民の生活に影響することがない。民の反対やトラブルもある。建設費用は原発に比べるかに安い。さらにかなりの期間活用できるし、老朽しても危険はない。廃棄するのに原発のように数兆円をすることもない。

ただこの提案は電力会社や府が採用するまい。それはなぜか？ 自然エネルギーは原発ほど儲からないからである。原発は建設、廃棄に数兆円の莫大な経費を要する。その出どころは国民の懐に他ならないが、原発の甘い蜜に群がる関連大企業が手放すはずがない。武器を作る軍需産業と同様にこれほど儲かる事業はない。原発関連企業もまた「死の商人」に他ならない。

「自然エネルギー」の

旗を高く掲げて、反原発のた  
たかいをさらに進めよう。

「二記」玄賀 順開

A photograph showing a group of people marching outdoors. In the foreground, a large black banner with white vertical text reads "学生行動" (Student Action). Several flags are visible, including the Japanese flag and other national flags. The background shows hills under a clear blue sky.

高浜原発3、4号機を前に